

137 ルリビタキ

(スズメ目)

兵庫県ランク:A

Tarsiger cyanurus

繁殖個体群:A 越冬個体群:ー 通過個体群:調

環境省ランク:指定なし

種の概要

北海道では夏鳥、本州、四国では留鳥、九州、沖縄では冬鳥。兵庫県では、平地では主に10-翌4月に見られるが、一部の高い山地では5-8月の記録がある。夏は高山の針葉樹林や針広混交林に生息し林床や倒木の窪みなどで繁殖する。冬は低山から平地に移動し、山麓の暗い斜面や溪流沿いに生息する。主に昆虫類、クモ類、ミミズ類などの小動物の他、秋から冬には草木の実なども採食する。

国内分布

北海道、南千島、本州、粟島、佐渡、舩倉島、隠岐、見島、四国、九州、対馬、壱岐、五島列島、男女群島、屋久島、種子島、伊豆諸島、小笠原群島、硫黄列島、トカラ列島、奄美諸島、琉球諸島、大東諸島



写真提供:三谷康則

県内分布 ()表記の市町では2002年以前に生息確認

神戸市、姫路市、(尼崎市)、明石市、西宮市、洲本市、芦屋市、伊丹市、(相生市)、豊岡市、加古川市、赤穂市、西脇市、宝塚市、三木市、高砂市、川西市、小野市、三田市、加西市、篠山市、養父市、丹波市、南あわじ市、朝来市、淡路市、宍粟市、加東市、たつの市、猪名川町、多可町、稲美町、(市川町)、神河町、(上郡町)、(佐用町)、香美町、新温泉町 ※県内繁殖有



主要な選定理由

影響の人為性				生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の希少性		
個体数激減	分布域激減	餌の可用性の低下	特殊競争圧	特殊捕食圧	特殊繁殖環境	特殊採餌環境	ね特殊ら休息環境・	局地的繁殖	希少

県内における生息状況およびその他特記事項

CランクからAランクに変更。
多くは冬に県内各地で観察される。以前は氷ノ山、扇ノ山などで繁殖の可能性があったが、近年は確認されていない。繁殖個体群が減少していると考えられている。



写真提供:松重和太

保護上の留意点

繁殖期に生息している場所の保全が重要。同時に、越冬地となる低山から平野の林をできるだけ残すことや下草の刈り込みを抑えること、除草剤や防虫剤の散布は行わないことが本種の保全対策として重要。



写真提供:但馬野鳥の会